

平成26年度第1回庄内町固定資産評価審査委員会調書

日 時 平成26年4月25日(金) 午前10時00分から午前11時00分まで

場 所 庄内町役場 第1会議室

出席者 固定資産評価審査委員会委員 齋藤 慎太郎  
固定資産評価審査委員会委員 佐藤 成彦  
説明員  
庄内町税務町民課長 佐藤 繁  
庄内町税務町民課資産税係長 成田 英樹  
庄内町税務町民課資産税係主任 長南 邦  
固定資産評価審査委員会書記 樋渡 満  
欠席者 固定資産評価審査委員会委員 遠藤 仁

1 開 会

成田説明員 それでは、平成26年度第1回庄内町固定資産評価審査委員会を始めます。本日は遠藤委員が体調不良により欠席ということで連絡を受けております。

なお、内容については審査申出がありませんでしたので、状況報告のみとなります。

開会にあたりまして、齋藤委員長より挨拶をお願いします。

2 挨拶

齋藤委員長 4月より消費税も増税になりましたが、4月13日の一般紙に法人税の収入相応以外の税について増税についての記事が掲載されていました。安定した税収入のためと記事にあったが、いわゆる安定した税収の見方については、あくまでも税金をかける立場から見て安定しているということであって、課税されるほうは収益が上がらないのに課税されているわけであり

ます。一部では好景気と言われているようですが、その実感が伴わない当地においては厳しい目が固定資産税に向けられているのではないかと考えております。納める側と納めていただく側の関係を考えてみると、制度に対する信頼感が必要であります。適正に運営していただくためには、日々の業務にかかっており、その点について今後としても適正な課税実務をお願いしたいと思います。

簡単ではございますが挨拶に代えさせていただきます。

成田説明員 続きまして、税務町民課長が挨拶いたします。

税務町民課長 この委員会の本来の役割としては、審査の申し出があった際に、第三者的な機関として独立した委員会であるということが法律に謳われており

ます。固定資産の評価の客観的合理性を担保して納税者の権利を保護することと、固定資産税の賦課に適正を期すということで、この委員会が設置されているものであります。

委員の任期は8月16日までで、齋藤さん、遠藤さんの2名が退任の予定です。新委員については、佐藤さんも含め6月議会に上程させていただき予定になっております。

以上、よろしく申し上げます。

### 3 報 告

(成田説明員が添付資料の説明)

成田説明員

何かご質問等はございますか。

佐藤説明員

資産税係では、平成18年より課税台帳と現場との突合ということで、全棟調査を行っております。今年度は仲町、御殿町、茶屋町を5月末から7月中旬にかけて実施予定です。

齋藤委員長

資料3よくある質問Q3に関連して、爆弾低気圧等で壊れた空き家についてはどのように対応していますか。

佐藤説明員

一昨年、空き家条例（庄内町空き家等の適正管理に関する条例）を設置して、老朽化して周囲に影響が及ぼしている等の苦情には対応しています。他町村では行政代執行をしているところもあるが庄内町ではそこまでしていません。

樋渡書記

20件程度そのような物件があり、改善してくださっている方もいますが、通知先が分からないケースや相続放棄の物件もあります。

齋藤委員長

家屋等3件ぐらいが更地になった事案があるが、税金が増額になり苦情はないですか。

成田説明員

なぜ税額が上がったのか、との問い合わせはこれまでもありました。

齋藤委員長

危険家屋に対する是正勧告については、固定資産の方では対応してないのですね。

成田説明員

5月16日に納税通知書を発送しますが、その際、担当課である建設課が作成した空き家条例チラシを同封しています。

佐藤委員

庄内町は田や畑が広い町ですし、また商業についてはバイパス沿いにだいぶ建ってきています。こうした現状から考えて今後の庄内町の固定資産税への影響や見通しはどうでしょうか。

佐藤説明員

農業用地については、課税額そのものが低く税収としての比率は低いものとなっています。また評価額は下がっている現状であり、この傾向は続くのではないかと思います。

佐藤委員

大規模店舗の誘致の話はないでしょうか。

佐藤説明員

三川のようなケースはありません。

佐藤委員

税収が少しずつ少なくなっていくと起債、町債で補っていくことになりますか。

佐藤説明員

住民税も下がっていくと思います。自治体には交付税もあるので、町の税収が減った分、そのまま歳入が減るわけではありません。

- 佐藤委員 何か明るいニュースはないですか。
- 齋藤委員長 景気は底を打った感があります。町の小売り店はなくなってきているがコンビニは増加し流行っています。
- 佐藤委員 観光開発はどうですか。
- 佐藤説明員 人数としては徐々に増えています。立谷沢地区を拠点として町として力を入れていきます。将来的には清川の歴史公園化構想も計画としてはあります。但し、人数が増えてもお金を落とすシステムをつくらないと経済効果は見込めません。
- 佐藤委員 西川町では月山でスキーをしているが、山頂の町としては何かしていますか。
- 佐藤説明員 デスティネーションキャンペーンも来ますので、それに合わせたイベントも考えているようであります。月山については廻りの市町村と連携して広域的に観光政策を進めております。
- また街中としては、八幡スポーツ公園で大会が行われた場合の昼食や宿泊の受け入れであるとか、それに伴ってお土産を買っていただくとか、その際、駅前のクラッセを利用させていただくなど、一体となって取り組んでいます。但し、町内の宿泊施設が少ないため、町外に流れてしまうこととなります。
- 佐藤委員 一生懸命、種をまいているようでありますので、これが芽を出して、みんなが庄内町に住みたくなることで、土地の値段も上がってきますし、税収も上がっていくことになるものと思います。収納率の状況は。
- 佐藤説明員 社会状況や職員の取り組みなどで、徐々に上向いています。

## 5 閉 会

- 成田説明員 これをもちまして、平成 26 年度第 1 回固定資産評価審査委員会を閉会します。